

:: 好酸球性筋膜炎 (Eosinophilic fasciitis)

Orpha 番号 : ORPHA3165

疾患定義

好酸球性筋膜炎は、筋膜の炎症および肥厚を特徴とするまれな結合組織疾患であり、通常は末梢血での好酸球増多を伴う。成人期に発症し、対称性かつ有痛性の腫脹が主に四肢に現れ、進行性に硬化していく。全身倦怠感、身体機能を損なう皮膚の線維化、筋炎、および関節炎を認めることもある。

日本語翻訳版の監訳：

- 尹 浩信
(難治性疾患政策研究班「強皮症・皮膚線維化疾患の診断基準・重症度分類・診療ガイドラインに関する研究」)

最終更新日：2013年1月

翻訳日：2019年3月

本要約の翻訳は国立研究開発法人日本医療研究開発機構 (AMED) からの資金援助の下で行われています。



本要約は情報の提供を唯一の目的として公開しているものです。専門医による医学的ケアの代わりとなるものではありません。本要約を診断や治療の根拠とすることはお控えください。



この情報は、フランスの Orphanet から提供されており、原文（英語）がそのまま日本語に翻訳されております。このため、国内で配信されている他の媒体と一部の内容が異なる場合があります。保険適用に関する診断基準等、国内の医療制度に準拠した情報が必要な場合は、厚生労働省の補助事業により運営されている難病情報センターや小児慢性特定疾病情報センター等の専門情報センターのホームページをご参照ください。

